

このところの雨風でこのあたりのソメイヨシノの花の季節も終わるのではと思いきや、まだ樹の頂部や枝先に花が残っている。3月21～23日の開花以来1月にもなる。一方、葉の展葉も、花が早く咲いた枝では3～の段階に達しているが、開花の遅かった枝では～2～程度と一本の樹でもばらつきがある。どうも、短枝の葉芽の展葉については、休眠打破の時期以外にも要因があるようだ。誰かさんが、言っていたように、ソメイヨシノ展葉に関しては胴付きや萌芽の枝、若木の長枝の葉の展用の方が花をつける短枝の頂芽より早いようである。

このような現象と同じであるかは分からないが、この附近に多い「コバノミツバツツジ」の展葉に関しても花芽を持たないシュートの展葉が早く、花を多く付けた樹（シュート？）の展葉はかなり遅れる。展葉調査などで悩ましい問題となっている。

これまでの「たより」の中でも述べてきたが、越冬芽（花芽、葉芽）自体には、開花や展葉するのに十分な養分は蓄積されてはいない。開花時等には樹本体からの養分補給が必須で、樹本体には秋から開花や展葉に必要な養分が蓄積されている。冬季には樹本体の水分を下げて養分濃度を上げ（氷点降下）・・・凍結や凍裂を避ける。凍結の心配のなくなる春先になると根から水を揚げて養分を運ぶ。というような図式が描けそうである。（メープルシロップ原液の採取が芽吹き前の早春に始められるのも自然の営みを利用しているのであろう。）本体に蓄積されていた養分は葉芽と花芽が共存する場合どちらに優先的に配分されるのであろうか？春先の芽吹きを見ていると花芽先行、花芽・葉芽同時展開はあるが、葉芽先行のケースはない。樹木の場合、花の時期は種の保全上他者にそろえる方が有利。葉の展葉の遅れはさほど問題とはならない。ソメイヨシノの短枝の開花や展葉はこのような順位付けに基づいているように思う。

なお、今年のソメイヨシノの開花時期が長かった為か、観察樹では花のあと果実が多くついているように思う。ソメイヨシノも、ヤマザクラやオオシマザクラなど他種の花粉で結実することが知られるが、近くにはソメイヨシノしかない。最も近い他種は50mほど離れたところのオオシマザクラであるが・・・。
受粉による結実なのか、しいなののか見守って行きたい。



＊今年サクラ前線、

前報で今年のサクラ前線が本州北端の青森に達したことを報告した。祖の時点ではまだ3か所が開花をしたものの、満開は報じられていなかった。この3日ほどでこの3地点の満開が伝えられた。まず九州南端の鹿児島は4月1日に開花後満開に達するのかが心配されていたが、4月19日に満開が報じられた。開花から満開まで実に18日間を要したことになる。一方、本種北端の青森は4月17日の開花で

早々と4月21日には満開となった。こちらは開花から満開まで4日間、これぞ日本のサクラ。なお、前報で4月14日の開花のを伝えていた盛岡も4月20日に満開となった。これで、本州・青森以南はすべてのソメイヨシノを標準木とする生物季節観測「さくらの開花・満開」の観測値がでそろったことになる。そこで、まとめとして気象庁の観測値および3月19日時点で開花予想を報じた気象会社2社の各地開花予想日の一覧表を以下に示しておく。

2020年度、気象会社のサクラ開花日の予想と実際。

- ・開花日の赤字は、観測史上最早となった場所、ピンクは最早タイ
- ・気象会社の開花日予想の的中を赤で表示。19日以前は実績であるので青字とした。
- ・ウェザーニューズ社は、気象庁の観測地点ではなく附近の「お花見」名所の開花予想。

都道府県	都市	気象庁発表		日本気象協会	ウェザーマップ	ウェザーニューズ	
		開花日	満開日	3月19日更新	3月19日更新	観測スポット	3月17日更新
北海道	札幌	—	—	4月25日	4月21日	五稜郭公園	4月22日
青森県	青森	4/17	4/21	4月13日	4月9日	弘前公園	4月15日
岩手県	盛岡	4/14	4/20	4月8日	4月6日	北上展勝地	4月11日
宮城県	仙台	3/28	4/3	3月27日	3月25日	白石川堤一目千本桜	3月30日
秋田県	秋田	4/8	4/15	4月7日	4月3日	桧木内川堤	4月19日
山形県	山形	4/3	4/8	4月3日	3月30日	霞城公園	4月6日
福島県	福島	3/28	4/1	3月26日	3月26日	開成山公園	4月3日
茨城県	水戸	3/21	3/31	3月21日	3月20日	平和通り	3月25日
栃木県	宇都宮	3/21	4/3	3月21日	3月20日	八幡山公園	3月25日
群馬県	前橋	3/19	3/27	3月20日	3月19日	前橋公園	3月24日
埼玉県	熊谷	3/18	3/25	3月18日	3月18日	幸手権現堂桜堤	3月19日
千葉県	銚子	3/27	4/3	3月24日	3月22日	千葉公園	3月20日
東京都	都心	3/14	3/22	3月14日	3月14日	上野恩賜公園	3月17日
神奈川県	横浜	3/18	3/28	3月18日	3月18日	三溪園	3月14日
新潟県	新潟	4/1	4/7	3月28日	3月28日	県立鳥屋野潟公園	3月30日
富山県	富山	3/27	4/3	3月24日	3月25日	松川公園	3月24日
石川県	金沢	3/26	4/1	3月25日	3月25日	特別名勝兼六園	3月27日
福井県	福井	3/25	3/31	3月24日	3月24日	足羽山公園	3月26日
山梨県	甲府	3/22	4/2	3月20日	3月22日	大法師公園	3月24日
長野県	長野	4/2	4/13	3月30日	3月27日	高遠城址公園	3月31日
岐阜県	岐阜	3/21	4/1	3月21日	3月20日	新境川堤	3月22日
静岡県	静岡	3/27	4/7	3月28日	3月25日	駿府城公園	3月22日
愛知県	名古屋	3/22	4/1	3月21日	3月20日	鶴舞公園	3月22日
三重県	津	3/25	3/31	3月24日	3月22日	宮川堤	3月23日

滋賀県	彦根	3/27	4/3	3月24日	3月24日	彦根城	3月26日
京都府	京都	3/22	3/30	3月21日	3月22日	嵐山	3月24日
大阪府	大阪	3/23	4/3	3月21日	3月22日	大阪城公園	3月21日
兵庫県	神戸	3/26	4/3	3月25日	3月23日	姫路城	3月24日
奈良県	奈良	3/26	4/3	3月23日	3月21日	郡山城跡	3月24日
和歌山県	和歌山	3/22	3/31	3月20日	3月20日	和歌山城	3月22日
鳥取県	鳥取	3/23	3/31	3月24日	3月21日	打吹公園	3月25日
島根県	松江	3/23	3/30	3月23日	3月23日	松江城山公園	3月24日
岡山県	岡山	3/24	3/31	3月23日	3月22日	岡山後楽園	3月23日
広島県	広島	3/22	4/3	3月21日	3月21日	平和記念公園	3月22日
山口県	下関	3/24	4/5	3月23日	3月23日	香山公園	3月21日
徳島県	徳島	3/27	4/5	3月25日	3月23日	眉山公園	3月25日
香川県	高松	3/23	4/4	3月23日	3月21日	特別名勝栗林公園	3月21日
愛媛県	松山	3/25	4/9	3月20日	3月22日	松山城山公園	3月23日
高知県	高知	3/24	4/2	3月21日	3月20日	高知公園	3月20日
福岡県	福岡	3/21	4/2	3月21日	3月21日	舞鶴公園	3月20日
佐賀県	佐賀	3/23	4/2	3月22日	3月23日	小城公園	3月22日
長崎県	長崎	3/24	4/3	3月23日	3月24日	立山公園	3月23日
熊本県	熊本	3/23	4/2	3月21日	3月23日	熊本城	3月22日
大分県	大分	3/25	4/8	3月24日	3月24日	平和市民公園	3月23日
宮崎県	宮崎	3/24	4/8	3月25日	3月25日	西都原古墳群	3月28日
鹿児島県	鹿児島	4/1	4/19	3月30日	3月28日	甲突川河畔	3月30日
沖縄県	那覇	1/6	2/3	—	—	—	—

*今年記録的な暖冬であったので、東北地区、北陸地区、および東京を始め関東地区では平年に比べ10日以上も開花日が早くなり、観測史上最早、もしくは最早タイとなった観測値が多かった。

*殆どの地域で、開花日は平年に比べて早くなったが、鹿児島（6日）、宮崎（3日）大分（1日）、高知（2日）、静岡（2日）等は遅くなった。

*東北、北陸、地区は暖冬とは言え、冬季の気温は「休眠打破」の期間への影響は殆どなく2、3月の気温が高めに推移した為、開花は大幅に早くなった。また、開花～満開までの日数も短かった。

*関東地区の各県は、日平均気温は平年より高めに推移したが、地域の特徴で晴れた日が多く、放射冷却によって夜間温度が下がり、「休眠打破」は早くなり、各地開花が史上最早を記録した。ただし、同地区でも関東平野部から外れた銚子は3月27日の開花、昨年より3日遅れとなった。

*東海以西も平年より開花日は早くなったところが多いが、九州四国の一部では開花日が平年並み、あるいは遅いという観測値がでた。暖冬の影響が、「休眠打破」に大きく影響したと考えられる。一般に開花日から満開日までの日数が1週間以上となった地域は「休眠打破」に異常があった（休眠打破に要したスパン・・・日数がながかった）と考えて良い。

*気象各社の開花予報日はご参考に。また、ウエザーニュース掲載地は、県内の人気スポット No. 1。